

まるごと“ふらの”を華麗(カレー)に食べよう!  
 ~食(カレー)を通して農業・商業・消費者を結ぶかけ橋に~

第215号 2015. 6. 23 配信  
 発行元:食のトライアングル(農・商・消)研究会

# カレー通信



毎月22日は華麗(カレー)の日!  
 毎月6日はオムカレーの日!

## 食のトライアングル(農・商・消)研究会は

地元の食材に付加価値をつけたカレーを通して、食への意識や関心を高め、市内はもとより道内外に“ふらの”の魅力を華麗(カレー)に発信することを目的に、「楽しく・ゆるやかに・継続して」を基本にワクワクさせる取り組みを展開します。

### トピックス:おうちでオムカレーを作ろう!プロジェクト ~カレンジャー娘、今月26日 市内スーパーで試食提供~

オムカレーで町おこしの取組みを進める富良野緑峰高校園芸科学科カレー専攻班に所属する11代目ふらのカレンジャー娘(リーダー:田中 さな)は、26日(金)16時からコープさっぽろ富良野店でオムカレーの試食会を開催する。

25日には「11代目ふらのカレンジャー娘 通信」(B4サイズ両面)を発行、新聞折込みし、試食会への来場を呼びかけるほか、カレンジャー娘の日常の活動を紹介する。

試食会は、オムカレーが観光地グルメとして定着してきたものの、地元住民が、家庭の食卓でオムカレーを作る・食べる文化に根付いていないことから、富良野オムカレー推進協議会がオムカレーを地域に根ざした食文化の醸成を図ることを目的に「おうちでオムカレーを作ろう!プロジェクト」を企画、ハウス食品(株)、(株)ホクリヨウ、コープさっぽろ、富良野緑峰高校など企業や学校が趣旨に賛同し、2013年から実施している。

26日は、16時からコープさっぽろ富良野店内でカレンジャー娘6名が、旬のアスパラを添えたオムカレーを数量限定で提供するほか、レシピカードの配布やオムカレーについてのアンケートを実施する。

ハウス食品(株)は試食用のカレールウやスパイス、(株)ホクリヨウは鶏卵、肉を提供、コープさっぽろは試食提供の場所を確保する。

また、2014年に初めて発行した「ふらのカレンジャー娘通信」は、今年も同協議会からの支援を受けて発行、25日に北海道新聞朝刊に折込みし、引き続きPRに力を入れる。

企画した同協議会は「富良野オムカレーを軸にした食による地域づくり・活性化には、観光地グルメ(=外食)の確立と並行して地域に根差した食文化の醸成(=内食)を図るなど、両輪の軸で進める必要がある。家庭の食卓への浸透は、スーパー等での販促や料理教室など継続した地道な活動の繰り返しが不可欠である。」と分析する。

なお、27年度の試食会と通信発行は6月~9月までの各月1回の年4回実施し、10月には集大成として、旭川大雪アリーナで開催するコープさっぽろ主催の「食べる・たいせつフェスティバル2015」にハウス食品(株)と連携し、オムカレーを通して食の大切さを来場者に伝える。



「カレンジャー娘 通信」を発行する  
 11代目ふらのカレンジャー娘の田中さん(左)、松浦さん(右)

### イベント出店情報:新・ご当地グルメグランプリ北海道 2015in 苫小牧

- ◆開催日:平成27年7月4日(土)・5日(日)
- ◆場所:苫小牧西港 キラキラ公園(北5頭緑地)
- ◆提供:10時~16時
- ◆出店数:北海道内12地域の新・ご当地グルメ
- ◆価格:全品チケット600円(現金不可)
- ◆購入:当日会場および富良野市内は山香食堂で前売りチケを発売中!



来場者の投票により人気度・味・コスバ・総合の順位が決定!富良野オムカレーは2日間で2400食 用意

